

法規分類大全

84

財政門
(8)

内閣記録局編

東京書房

内閣記録局編

法規分類大全

第八十四卷

財政門〔8〕

覆刻版監修

石井良助
林修三

法規分類大全・第84巻

財政門〔8〕（第二編）第51回配本

定価 12,000円

昭和五十四年十二月二十日印刷 昭和五十四年十二月二十五日発行 覆刻原本 明治二十七年刊		編者	内閣記録局
覆刻版	監修	石井良三	
解題編	集責任	三上昭美	
発行人		成瀬恭社	
印刷所		榑平河工業	
製本所		佐拔製本所	
発行所		株式會社 原書房	
東京都新宿区新宿一―二五―一三 振替口座 東京五一―五一五九四番 電話 〇三（354）〇六八五番（代表）			

落丁、乱丁本はおとりかえいたします。

3332-15510-6945

法規分類大全第二編卷十五上目錄

財政門

財政總

各廳會計上

所外務	定省	在外公使領事館會計規程	明治二十二年十一月二十九日	十一頁
木内務省通達	達土	土木監督署會計事務取扱順序中改正	二十一年五月十日	三
所大藏	定省	國債費及恩賞諸祿收支ニ付國債局取扱ニ係ル事務順序	二十三年四月十一日	四
海軍省達	達	海軍機關學校會計經理方	二十二年六月一日	十
海軍省達	達	海軍會計監督規則	二十二年六月十七日	會計検査ノ目ニ載ス
海軍省達	達	海軍歳入歳出取扱規程	二十三年三月三日	十
海軍省達	達	海軍歳入歳出取扱規程中追加	二十三年七月二十四日	六十七
海軍省達	達	裁判所會計處務規程	二十一年十月二十三日	
司法省訓令	令	裁判所會計處務規程改正	二十二年三月二十一日	六十九
司法省總務局通達	達	裁判所會計處務規程ニ關スル心得方	二十二年五月二十四日	七十三
司法省訓令	令	裁判所會計處務規程改正	二十三年三月十三日	七十五
司法省訓令	令	裁判所會計處務規程改正	二十三年十月三十日	八十三
司法省訓令	令	裁判所會計處務規程第三十一條質疑	二十三年十一月二十四日	八十七
司法省會計局各課事務分掌手續			二十三年十一月一日關	

司法省通達 一六三三號	裁判所會計事務處辨上體認方	二十三年十二月二日	九十二
訓文部 令省	文部省會計法施行順序	二十三年三月二十日	九十三
計文部所定會 計局所定會	文部省會計法施行細則	二十三年三月二十四日	
山林區署へ達	林區署會計事務山林會計兩局分擔區別	二十三年七月十二日	官職門官制 ノ目ニ載ス
逓信省公達 第二百七十七號	逓信管理局會計例規改正	二十一年三月五日	九十五
逓信省公達 第二百七十九號	逓信管理局會計例規及會計記簿規程中改正加除	二十一年四月十六日	二百六十三
逓信省公達 第二百二十一號	逓信管理局會計例規及同書式中追加	二十一年六月十三日	二百七十
逓信省公達 第二百六十三號	逓信管理局會計例規及同書式中改正	二十一年七月二十三日	二百七十一
逓信省公達 第二百七十四號	逓信管理局郵便及電信局并同支局會計例規ニ據 リ調製スル諸書表類料紙ヲ定ム	二十一年七月二十八日	二百七十九
逓信省公達 第二百十六號	逓信管理局會計例規及同書式中改正刪除	二十一年十月十五日	
逓信省公達 第二百三十七號	逓信管理局會計例規中改正加除	二十一年十一月十九日	二百八十
逓信省公達 第二百十四號	逓信管理局會計例規第三十三條改正	二十二年四月十日	
逓信省公達 第二百四十七號	逓信管理局歲入過誤納下戻請求ノ節事由詳記方	二十二年五月四日	
逓信省公達 第二百五十一號	逓信管理局會計例規及同會計記簿規程中追加	二十二年五月四日	二百八十一
逓信省公達 第二百七十號	逓信管理局會計例規第三十三條改正	二十二年五月二十四日	
勅令 第九十六號	地方逓信官官制ヲ廢シ更ニ郵便及電信局官制ヲ 定ム	二十二年七月十五日	官職門官制 ノ目ニ載ス
逓信省公達 第二百五十一號	元逓信管理局會計事務引繼及殘務整理順序	二十二年七月二十五日	二百八十一
逓信省公達 第二百五十三號	元逓信管理局電信建築事務引繼手續中會計ニ關	二十二年七月二十五日	二百九十六

逓信省公達 第二百七十四號 逓信令省	スル事項		
逓信省公達 第二百七十四號	郵便及電信局營繕費引繼方	二十二年八月五日	三百
逓信省公達 第二百八號	三等郵便及電信局經費明細簿引繼方	二十二年八月六日	
逓信省公達 第二百八號	郵便及電信局會計例規	二十一年三月五日	
逓信省公達 第二百六十四號	郵便及電信局會計例規書式中改正	二十一年七月二十三日	三百八十九
逓信省公達 第二百六十四號	郵便及電信局會計例規書式中ノ料紙ヲ定ム	二十一年七月二十八日	三百九十三
逓信省公達 第二百七十四號	郵便及電信局會計例規第二十九條第三項中更正	二十二年二月十四日	
逓信省公達 第三十一號	追加		
逓信省公達 第二百八十五號	釜山上海元山仁川小笠原島ニ係ル郵便及電信局會計例規書式中改正追加	二十二年九月三十日	
逓信省公達 第六十五號	郵便及電信支局會計例規	二十一年三月三十一日	三百九十四
逓信省公達 第八百三十三號	朝鮮國仁川郵便局京城出張所會計事務取扱方	二十一年六月二十二日	四百二十三
逓信省公達 第八百三十三號	郵便及電信支局會計例規書式第九號ノ料紙ヲ定ム	二十一年七月二十八日	
逓信省公達 第四百四十六號	郵便及電信支局會計例規第十條及第十二條但書	二十二年十一月十九日	
逓信省公達 第三百一號	中改正		
逓信省公達 第三百一號	一等郵便電信局會計例規	二十二年八月二十三日	
逓信省公達 第三百七十八號	一等郵便電信局會計例規第五百五條改正	二十二年九月二十八日	六百六
逓信省公達 第三百八十一號	一等郵便電信局會計例規及同書式中改正加除	二十二年九月三十日	
逓信令省	逓信管理局ヨリ受繼タル用紙ヲ以テ現金出納表	二十二年十月二日	六百七

指逓 信 令省	并三等郵便及電信局經費受渡切符ニ代用方		
逓信省公達 第百十五號	赤間關郵便電信局會計例規書式中ノ受付金書留	二十二年十一月二十二日	六百七
指逓 信 令省	簿ヲ廢スルヲ允サス		
逓信省公達 第百十二號	一等郵便電信局會計例規第十四條ニ據リ進達ス	二十三年二月五日	六百八
逓信省公達 第百六十一號	ル經費豫算實況報告書調製方		
逓信省公達 第百六十一號	一等及二等以上郵便電信局會計例規并書式	二十三年三月二十七日	
指逓 信 令省	一等郵便電信局會計例規中追加更正	二十三年五月十七日	六百九十八
	爲替貯金ヲ取扱フ三等郵便局長變更ノ場合ニ於	二十三年七月九日	
	テ一等郵便電信局會計例規第六條二項ノ検査員		
	任命方		
逓信省公達 第百七十一號	一二等郵便電信局會計例規及二等以上郵便電信	二十三年七月二十五日	
逓信省公達 第百七十八號	局歳入歳出記簿規程中改定		
逓信省公達 第百八十四號	二等以上郵便電信局會計例規書式中改正追加	二十三年七月二十五日	六百九十九
逓信省公達 第百八十四號	一等郵便電信局會計例規中加除	二十三年十二月二十七日	
逓信省公達 第百八十二號	二等郵便電信局會計例規	二十二年八月二十三日	七 百
指逓 信 令省	舊會計例規書式ニ依リ調製シタル切手類送付證	二十二年九月七日	八百四十一
	用紙使用方		
逓信省公達 第百七十九號	二等郵便電信局會計例規第八十九條改正	二十二年九月二十八日	
逓信省公達 第百八十二號	二等郵便電信局會計例規及書式中改正加除	二十二年九月三十日	
逓信省公達 第百八十三號	二等及二等以上郵便電信局會計例規及書式	二十三年三月二十七日	八百四十二

逓信省公達
第百六十二號

二等郵便電信局會計例規中追加更正

二十三年五月十七日

八百五十四

逓信省公達
第百七十一號

二等郵便電信局會計例規及書式中改定

二十三年七月二十五日

條一
等局スノ

逓信省公達
第百七十八號

二等以上郵便電信局會計例規書式中改正追加

二十三年七月二十五日

同上

法規分類大全第二編卷十五上

財政門

財政總

各廳會計上

在外公使領事館會計規程

在外公使領事館會計規程 二十二年十一月二十九日(外務省所定)

第一條 外務省ハ毎年度所管經費豫算決定ノ上在外各廳ニ係ル經費(俸給其他現員ニ據リ送)ノ年額ヲ豫定シ之ヲ其廳ヘ通知スヘシ

第二條 前條ノ經費ハ年度ヲ四期ニ分テ每期三箇月分ノ金額ヲ其廳出納官吏ヘ前渡スヘシ

第三條 出納官吏外務省ヨリ送付シタル金額ヲ受取タルトキ其領收證書ハ最近便ヲ以テ其廳ヲ發シ外務省會計主務官ヘ送付スヘシ

第四條 出納官吏現金仕拂ヲ爲スニハ其經費ハ豫定ノ目的ニ違フコトナキヤ又定額ニ超過スルコトナキヤ其他所屬年度科目等ノ區分ヲ調査シタル上仕拂ヲ爲シ正當受取人若クハ代理人ヨリ領收證書ヲ徴スヘシ

第五條 前渡金中若シ目以上ノ流用ヲ要スルトキハ其金額事由ヲ詳記シ外務大臣ノ承認ヲ受クヘシ

第六條 前渡金中明示シタル節ノ金額ハ同目内ニ於テ他ノ目的ニ仕拂ヲ要スル場合ハ直ニ流用支辨スルヲ得是カ爲メ若シ其目ノ金額不足ヲ生スルトキハ其事由ヲ詳記シ更ニ前渡ノ請求ヲ爲スヘシ

第七條 科目表ニ掲ケタル項目ノ範圍内ニ屬スル費額ニシテ若シ之ヲ支辨スヘキ定期ノ前渡金ナキトキハ其金額事由ヲ詳記シ前渡ノ請求ヲ爲スヘシ

第八條 定期ノ前渡金ヲ以テ支辨シ難キモノ即チ臨時營繕費又ハ器具修補料ノ如キハ其豫算書ヲ調製シ前々年度十二月三十一日迄ニ外務省ヘ送付スヘシ

第九條 在外各廳ニ現ニ在勤スル官吏ニシテ其俸給ノ幾分ヲ本邦ニ於テ仕拂ハレンコトヲ望ム者ハ豫

ノ其金額及ヒ受領者ノ住所氏名ヲ記シタル印鑑ヲ添ヘ別紙雛形ノ通申請書ヲ其廳出納官吏ノ證明ヲ經テ外務省會計主務官ヘ差出スヘシ

前項ノ官吏赴任前本邦ニ於テ其申請書ヲ差出ストキハ正副二通ヲ徴シ副書ハ其官吏ノ在勤スヘキ廳ノ出納官吏ヘ送付スヘシ

第十條 前條ノ場合ニ於テ申請書ニ記載シタル金額ハ出納官吏之ヲ帳簿ニ記入シ本人ノ俸給ヲ仕拂フトキ本人ノ俸給額ヨリ本邦渡ノ金額ヲ扣除シ其剩餘ヲ拂渡スヘシ

第十一條 在外各廳經費ノ内物品購入ノ爲メ及ヒ第九條在勤官吏俸給ノ内本邦ニテ仕拂タル金額ノ計算報告等ハ外務省ニ於テ之ヲ整理スヘシ但シ廳費ノ内定額渡切費ヲ以テ支辨スヘキ物品ノ購入方ヲ外務省ヘ委托スル場合ニハ其購入代價ハ豫メ爲換券ヲ以テ外務省ヘ送付スヘシ

第十二條 在勤官吏轉任若クハ歸朝スルトキハ出納官吏ニ於テ其年度ノ初日ヨリ本人出發前日迄ノ俸給ヲ精算シテ交付スヘシ若シ追給スヘキ場合ニ於テ前渡金不足スルトキハ其旨速ニ外務省ヘ報告スヘシ前項俸給ノ精算額ハ必ス本人ノ出發ト同時ニ其趣クヘキ廳ヘ報告スヘシ

第十三條 出納官吏ハ仕拂ヲ記入シタル帳簿ニ依リ毎月末日ニ於テ計算表ヲ作り現在金ト照合スヘシ第十四條 過年度ニ屬スル經費ノ仕拂ヲ要スルトキハ其金額、科目、所屬年度及過年度ト爲リタル事由ヲ詳記シ支出ノ請求書ヲ作り外務大臣ニ提出スヘシ

第十五條 出納官吏ハ毎年度末ニ至リ前渡ヲ受クル金額中殘餘アルトキハ其旨外務省ヘ報告シ現金ハ大藏省ノ指揮ニ隨ヒ處分スヘシ

第十六條 旅費、困難民貸與金等直ニ仕拂ヲ要スル費額ニシテ其科目該當ノ前渡金ナキカ又ハ前渡金不足ナルトキハ一時他ノ現在金ヨリ繰替仕拂フコトヲ得但シ此場合ニ於テハ速ニ第七條ノ手續ニ準シ送金ノ請求ヲ爲スヲ要ス

橫濱正金銀行又ハ其他ノ銀行ニ對シ逆爲換ヲ取組得ヘキ契約アル場合ニ於テ前項ニ依リ仕拂ヲ爲サントスルトキハ最寄橫濱正金銀行支店若クハ他ノ契約アル銀行ニ就キ逆爲換ヲ取組ミ現金領收ノ上

仕拂ヲ爲シ同時ニ其金額科目事由ヲ詳記シ外務省ヘ報告スヘシ

第十七條 各廳ヨリ依頼ノ物品購入其他何等ノ事由ニ拘ハラズ總テ他廳ノ爲メ繰替仕拂ヲ爲スコトヲ得ス但シ銀行ト特ニ逆爲換取組ノ契約アル場合ニ於テハ逆爲換ヲ取組ミ現金領收ノ上其旨速ニ依頼廳ヘ報告シ償還請求ノ手續ヲ爲スヘシ

第九條留守宅渡金申請書々式

俸給本邦渡申請書 (本邦渡一箇年分ノ額ヲ掲ク)

一英貨、
一銀貨、
一、
一、
一、

但一箇月、
、
、
、
、
ノ割

右ハ拙者在勤中俸給ノ内前記ノ高何年何月分ヨリ東京何區何町何番地何某ヘ交付相成度依テ別紙同人印鑑相添ヘ此段申請候也

在何館

明治何年何月何日

官 氏 名

外務大臣何某殿

土木監督署會計事務取扱順序中改正

會計事務取扱順序ハ二十三年三月八日內務省訓令訓第一四七號ヲ以テ改正シ其第十九條ニ會計ニ關スル事務ハ一般會計規定ニ依リ處理スヘシト減入處務規則ヘ官職門官制ノ目ニ在リ

內務省土木局ヨリ各監督署巡視長ヘ通達 二十一年五月十日 丙發第五六號
土木監督署會計事務取扱順序中左ノ通改刪致候條此段及御通達候也

土木監督署會計事務取扱順序中改正刪除

一 第三章第五條第十一項中正副二通及副書ノ六字刪除

一 同第十三條中五日トアルヲ十日ト改ム

一 第四章第十八條中各其使用者トアルヲ工營所主任者ト改ム

一同第三十一條每歲十月消耗セサル現在物品ノトアルヲ器具器械其他消耗セサル物品每歲十月三十一日ノ現在數量ヲトシ五日トアルヲ三十日ト改ム

一同第三十二條中五日トアルヲ二十日ト改ム
一同第三十四條中每一箇月トアルヲ每一年度トシ及翌月五日トアルヲ翌年度五月二十日ト改ム
一第六章第三十九條第四項及第五項本人戶籍書ノ寫トアル但書ニ尤遺族ナキモノハ該寫書ヲ要セスノ字ヲ加フ

一同第四十一條中及ヒ以下ノ文字ヲハ其略圖竝ニ借上料金ノ調書ヲ添付ス可シ又同則第二十條第二項ノ報告ニハ借上料金ノ調書ヲ添付ス可シト改ム

國債費及恩賞諸祿收支ニ付國債局取扱ニ係ル事務順序 二十三年四月十一日(大藏省所定)

第一款 總則

第一條 國債費及恩賞諸祿每年度ノ支出豫算概定額ハ明治二十二年閣令第十二號第三條第四條ニ據リ國債局ハ歲出概算書ヲ調製シ大臣決裁ノ上會計局ヘ送付スヘシ

第二條 國債局ハ會計規則第八條第九條第十條ニ據リ每年度國債費及恩賞諸祿ニ係ル豫定經費要求書ヲ調製シ大臣決裁ノ上會計局ヘ送付スヘシ

第二款 國債費

第三條 國債局ハ每年度決定ノ國債費豫算定額ニ基キ會計規則第十一條ニ據リ國債費仕拂豫算ヲ調製シ仕拂期ニ區分シ大藏大臣ノ檢視ヲ受クル爲メ大臣決裁ノ上大藏省ヘ送付スヘシ

第四條 外國債元金ニシテ年度開始以前支出ヲ要スルトキハ明治二十二年勅令第九十五號ニ據リ國債局ハ年度開始以前支出計算書ヲ調製シ大藏大臣ノ檢視ヲ受クル爲メ大臣決裁ノ上大藏省ヘ送付スヘシ

第五條 國債局ハ本順序第三條第四條ノ檢視ヲ受ケタルトキハ會計法第十五條第二項ニ據リ新公債、舊公債、秩祿公債、金札引換公債、金祿公債、舊神官配當祿公債、金札引換無記名公債、中山道鐵道公債、海軍公債、整理公債、鐵道費補充公債、大藏省證券利子ハ日本銀行起業公債ハ第一國立銀行三井銀行外國

國債費及恩賞諸祿收支ニ付國債局取扱ニ係ル事務順序

二十二年閣令第十二號ハ歲入歲出豫算概定順序ナリ豫算ノ日ニ載ス

二十二年勅令第九十五號ハ會計年度開始前現金支出規則ナリ出納諸則ノ日ニ載ス

債ハ橫濱正金銀行預金利子ハ預金局ノ仕拂額請求書ニ對シ左ノ區分ニ從ヒ現金前渡ノ仕拂命令案ヲ具シ大臣決裁ノ上仕拂命令ヲ發スル手續ヲナスヘシ

一 內國債利賦金ハ各仕拂期月ノ二十日前

一 外國債元金ハ前年度二月一日ヨリ五日（日曜日ヲ除ク）前ノ橫濱ヨリ英國倫敦ヘノ參著拂爲換相場ニ依リ既定ノ元金額ヲ本邦通貨ニ改算シ前年度二月五日マテ

一 外國債利金ノ一月一日拂ハ前年十月十六日ヨリ七月一日拂ハ其年四月十六日ヨリ五日（日曜日ヲ除ク）前項同様ノ爲換相場ニ依リ既定ノ利金額ヲ本邦通貨ニ改算シ一月一日拂ハ前年十月二十日七月一日拂ハ其年四月二十日マテ

一 大藏省證券利金ハ仕拂期日ヨリ二十日前

一 當籤證書ノ元利金ハ抽籤執行後取扱銀行請求ノトキ

但整理公債ト交換申込ノ景況ヲ酌量シ償還元金ノ半額若クハ其幾分ヲ交付スルコトアルヘシ

一 預金利子ハ仕拂期月ノ二十日前

一 前各項ノ元利賦金ニシテ過年度ニ屬スルモノハ預金局及取扱銀行請求ノトキ

第六條 征討費借入金利金ハ第十五國立銀行ヨリ仕拂期月ノ十五日マテニ請求書ヲ差出サシメ仕拂命令ヲ發スルノ手續ヲナスヘシ

但借入元金ハ償還滿期ニ至リ該年ノ利子請求ノトキ共ニ請求書ヲ差出サシムヘシ

第七條 預金局及各取扱銀行ヨリ差出ス仕拂額請求書ハ第五條ニ記載スル仕拂期日ヨリ五日以前ニ差出サシメ國債局ハ之ヲ調査シ各々其區分ニ從ヒ仕拂命令發行ノ手續ヲナシ請求書ハ會計規則第三十

五條ノ支出ノ證據書類トシテ之ヲ會計主務官ニ送付スヘシ

第八條 現金前渡ヲナシタル國債元利賦金等ニ對シ明治二十三年勅令第二十號第一條ニ據リ毎月一回

仕拂計算書ヲ調製セシメ證據書類ヲ添ヘ內國債ハ前月仕拂ノ分ヲ翌月三十日限り外國債ハ翌月二十

日ヲ限り（倫敦ヲ發シ）國債局ニ差出サシメ同局ハ其下検査ヲ執行シ下検査書ニ證據書類ヲ添ヘ會計

二十三年勅令第二十號ハ
國債ニ關スル仕拂及收入
金決算方ナリ會計検査ノ
目ニ載ス

検査院へ送付ノ手續ヲ爲スヘシ

但前月仕拂タルモノヲ翌月ノ計算書ニ編入漏或ハ事故アリテ翌翌月ニ渉ルモノアルトキハ何月分追加トシテ別冊計算書ヲ差出サシメ本條ノ手續ヲナスヘシ

第九條 國債局ハ第五條ノ現金前渡ノ仕拂命令ヲ發シタルトキハ現金前渡ノ記帳ヲナシ追テ前條計算書ニ據リ仕拂濟ノ記帳ヲナスヘシ

第十條 大藏省證券ノ利子其他豫算ノ不足ヲ補フ爲メ第一豫備金ヨリ補充支出ヲ要スルトキハ國債局ハ會計規則第十九條ニ據リ計算書ヲ調製シ大藏大臣ノ承認ヲ受ル爲メ大臣決裁ノ上會計局へ送付スヘシ

第十一條 國債局ハ第一豫備金支出ノ承認ヲ受ケタルトキハ會計規則第十一條ニ據リ仕拂豫算ヲ調製シ仕拂期ニ區分シ大藏大臣ノ檢視ヲ受クル爲メ大臣決裁ノ上大藏省へ送付スヘシ

第十二條 前條大藏大臣ノ檢視ヲ受タルトキハ國債局ハ取扱銀行ヨリ請求書ヲ差出サシメ仕拂命令案ヲ具シ大臣決裁ノ上仕拂命令ヲ發スル手續ヲナスヘシ

第十三條 第一豫備金支辨ニ對シテハ國債局ハ會計規則第二十四條第一項ニ據リ計算書ヲ調製シ大臣決裁ノ上會計局へ送付スヘシ

第十四條 國債局ハ會計規則第五十三條第五十四條ニ據リ國債計算書ヲ調製シ翌年度十二月三十一日マデニ大藏大臣へ差出スヘシ

第十五條 現金前渡ヲ以テ取扱銀行ニ交付セシ國債元金ニシテ元金代トシテ交付スル整理公債證書ノ發行ノ爲メ又ハ公債繰上ケ償還等ニ由リ不用トナリタルモノアルトキハ取扱銀行ヨリ其高ヲ報告セシメ國債局ハ之ヲ調査シ明治二十二年大藏省令第十六號第一條ニヨリ返納告知書ヲ發シ同第二條ノ手續ヲナシ同第三條ニ據リ定額戻入ノ要求ヲ大臣へ具申ノ手續ヲナスヘシ

第十六條 國債局ハ前條戻入金ニ對シ會計法第二十三條但書及會計規則第六十三條第六十四條第六十五條ニ據リ定額戻入ノ要求書ヲ調製シ大藏大臣ノ檢視ヲ受クル爲メ大臣決裁ノ上會計局へ送付スヘシ

二十二年大藏省令第十六號ハ前金渡概算渡ノ返納金ヲ定額ニ戻入スル取扱規程ナリ出納諸則ノ日ニ載ス

シ

第十七條 國債局ハ取扱銀行又ハ預金局ニ於テ誤拂過渡アルコトヲ發見シタルトキハ取扱銀行又ハ預金局へ員額事由ヲ通達シ誤拂過渡金ハ會計法第二十三條ニ據リ現年度ノ歳入ニ組入ルヘキ爲メ大臣ノ決裁ヲ得之ヲ收入官吏ニ送付シ納入告知書ヲ發スルノ用ニ供スヘシ

取扱銀行又ハ預金局ニ於テ誤拂過渡アルコトヲ發見シタルトキハ員額事由ヲ報告セシメ國債局ハ之ヲ調査シ前項ノ手續ヲナスヘシ

第十八條 國債局ハ現金前渡ヲ爲シタル諸公債元利賦金ニシテ債主未請求ノ爲メ當該年度三月三十一日マテニ仕拂未済トナリタルモノアルトキハ取扱銀行ヲシテ仕拂未済計算書ヲ差出サシメ國債局ハ之ヲ調査シ翌年度六月三十日マテニ第十五條第十六條ノ手續ヲナスヘシ

預金利子ニシテ翌年度六月三十日マテニ債主未請求ノ爲メ仕拂未済トナリタルモノアルトキハ預金局ヲシテ仕拂未済計算書ヲ差出サシメ國債局ハ之ヲ調査シ現年度ノ歳入ニ組入ルヘキ爲メ前條ノ手續ヲナスヘシ

第十九條 國債費ノ計算報告書ハ會計規則第五十二條ニ準據シ國債局ニ於テ之ヲ調製シ大臣決裁ノ上會計局ニ送付スヘシ

第二十條 諸公債元利賦金仕拂ニ係ル手數料ハ第八條仕拂計算書ニ該當スルモノヲ取纏メ取扱銀行ヲシテ請求書ヲ差出サシメ國債局ハ毎月仕拂計算書ノ下検査ヲ了リタル後調査ノ上仕拂命令ヲ發スル手續ヲナスヘシ

但本條請求書ハ第七條ニ據リ會計主務官ニ送付スヘシ

第二十一條 會計主務官ヨリ會計規則第九十五條ニ據リ國債費ニ係ル毎年度會計事務ノ計算書ヲ送付アルトキハ國債局ハ同規則第九十六條ニ據リ下検査ヲ爲シ其下検査書ヲ添ヘ會計検査院ヘ送付ノ手續ヲナスヘシ

第三款 大藏省證券

第二十二條 國債局ハ出納局ヨリ大藏省證券發行ノ請求ヲ受ケタルトキハ發行額内ニ於テ其須要ヲ審查シ證券發行ノ手續ヲ主計出納兩局ニ合議シテ大藏大臣ノ決裁ヲ受クヘシ

第二十三條 大藏省證券元金ヲ收入セントスルトキハ國債局ハ日本銀行ニ對シ納入告知書ヲ發シ金庫ヘ拂込マシムルノ手續ヲ爲スヘシ

第二十四條 國債局ハ前條ノ拂込金ニ對シ中央金庫ヨリ收入濟ノ報告ヲ受クルトキハ翌日マテニ之ヲ主計出納兩局ヘ報告スヘシ

第二十五條 大藏省證券元金ヲ償還セントスルトキハ日本銀行ノ仕拂額請求書ニ對シ國債局ハ現金前渡ノ仕拂命令案ヲ具シ主計出納兩局ニ合議シ大藏大臣決裁ノ上仕拂命令ヲ發スル手續ヲナスヘシ

第二十六條 大藏省證券元金ノ收入ニ對シテハ明治二十三年勅令第二十號第二條ニ據リ年度經過後二箇月以内ニ日本銀行ヨリ出納計算書ヲ差出サシメ國債局ハ其下檢査ヲ執行シ下檢査書ニ證憑書類ヲ添ヘ會計檢査院ニ送付ノ手續ヲナスヘシ

第四款 恩賞諸祿

第二十七條 北海道廳長官府縣知事ヨリ明治二十三年大藏省訓令第十二號恩賞諸祿仕拂取扱順序(以下ハ本條訓令ヲ云フ)第一條若クハ第二條ニ據リ支給金額明細書ノ送付アルトキハ國債局ハ之ヲ調査シ會計規則第十一條ニ據リ仕拂豫算ヲ調製シ大藏大臣ノ檢視ヲ受クル爲メ大臣決裁ノ上大藏省ヘ送付スヘシ

第二十八條 前條大藏大臣ノ檢視ヲ受ケタルトキハ國債局ハ仕拂取扱順序第三條ニ據リ大臣ヨリ仕拂委任命令ノ手續ヲ爲スヘシ

第二十九條 各省ヨリ一時賜金及給助金ノ支給金額明細書ノ送付アルトキハ國債局ハ之ヲ調査シ第二十七條ノ手續ヲナスヘシ

第三十條 前條大藏大臣ノ檢視ヲ受タルトキハ受領者現住地地方廳ニ對シ第二十八條ノ手續ヲ爲スヘシ